

作成日： 2005年04月01日

改訂日： 2012年04月01日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ピルビン酸エチル
会社名	株式会社武蔵野化学研究所
本社	東京都中央区京橋一丁目1番1号
担当部門	品質保証室
整理番号	P02-02

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名または一般名	ピルビン酸エチル
別名	2-オキソプロパン酸エチル
成分及び含有量	ピルビン酸エチル 98.0%以上
化学特性（構造式）	$\text{C H}_3 - \text{C} - \text{C O O C}_2\text{H}_5$ $\quad \quad \quad \parallel$ $\quad \quad \quad \text{O}$

官報公示整理番号	(2)-1505（化審法）
C A S No.	617-35-6
T S C A	登録あり
E I N E C S	2105112
輸出統計品目	2918.30-000
輸入統計品目	2918.30-200
危険有害成分	ピルビン酸エチル

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：	
有害性	有害性はきわめて低い
環境影響	生分解性の良好な物質である。
物理及び化学的危険性	引火性がある
特定の危険有害性	特になし
分類の名称	引火性液体（分類基準は日本方式）

4. 応急措置^{1) 2)}

皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。
眼に入った場合	清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちにはずす。
吸入した場合	すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。呼吸困難の場合には、酸素吸入を行う。呼吸していない場合には、人工呼吸を行う。
誤飲した場合	多量の水、または食塩水を飲ませて、すみやかに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置²⁾

消火剤	粉末(ABC)消火器、泡消火器
特定の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。また、延焼の恐れのないように、水スプレーで周辺のタンク、建物等を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	化学用保護メガネ、ゴム長靴、保護手袋を着用する。作業の際は、風下の人を待避させる。漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下で作業をしない。
環境に対する注意事項	生分解性があり、魚毒性も低いと考えられる。ただし、濃厚な液

除去方法	が河川等に排出されないように注意する。 少量の場合は、土砂等で吸着させて空容器に回収し、その後を多量の水で洗い流す。大量の場合は、漏洩した液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、できるだけ空容器に回収する。その後は多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものをすみやかに取り除く。消火用機材を準備する。
7. 取扱い及び保管状の注意	
取扱い：	
技術的対策	火気、静電気、火花などの、着火源が生じないように注意する。
注意事項	保管の際には、上記の他、直射日光を避け、密閉し、高温物を近づけない。保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
安全取扱い注意事項	漏洩の防止に留意する。接触、吸入の防止のための保護具を着用する。
保管：	
適切な保管条件	遮光した気密容器にて、常温で保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン等の樹脂系、又はステンレス鋼
8. 暴露防止及び保護措置^{1) 2)}	
設備対策	取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	保護メガネ、ビニル手袋を着用し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状态：	
性状	黄色澄明な液体で、特異なおいがある。
物理的状态が変化する特定の温度：	
沸点 ¹⁾	148℃
引火点 ³⁾	50.5℃ (タグ密閉式)
爆発特性：	
爆発限界	下限：1.58 vol% 上限：10.79 vol%
蒸気圧 ³⁾	3.73 hPa (20℃) 6.90 hPa (30℃)
蒸発速度 ³⁾	0.311 (酢酸ブチル=1)
燃焼熱 ³⁾	5177 cal/g
比重	d_{20}^{20} 1.040~1.060
溶解性：	
溶媒に対する溶解性	水、エタノール、トルエンに可溶
10. 安定性及び反応性	
安定性	通常の手扱い条件では安定である。
反応性	酸、アルカリと反応し加水分解することがある。
危険有害な分解生成物	特になし
11. 有害性情報³⁾	
急性毒性	LD ₅₀ 5000 mg 以上/kg (ラット 経口)
急性吸入毒性	LC ₅₀ 5.53 g 以上/m ³ (ラット) *死亡例なし
局所効果	データなし
12. 環境影響情報	
残留性/分解性	分解性良好
COD(Mn) ³⁾	0.41 g/g
BOD ³⁾	1.27 g/g

1 3. 廃棄上の注意

廃棄する場合は焼却によって行い、方法は次のいずれかによる。

- ・ ケイソウ土等に吸収させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- ・ 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制 特になし
 国連分類： クラス 3.3 (高引火点引火性液体)
 容器等級 III
 国連番号： 1993
 その他：

- ・ 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。
- ・ 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

消防法 危険物 第四類 第二石油類 (非水溶性)
 安衛法 危険物 (施行令別表第一 引火性)
 船舶安全法 危告示 別表第 5 (引火性液体類 容器等級 3)
 航空法 施行規則 第 194 条 (危険物 引火性液体)
 港則法 施行規則 第 12 条 (危険物 引火性液体類)

1 6. その他の情報

【引用・参考文献】

- 1) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II ; Robert E. Lenga
- 2) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 3) 社内資料

【問い合わせ先】

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 記載内容の問い合わせ先 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 運送中の問い合わせ先 |
| 株式会社武蔵野化学研究所 | 株式会社武蔵野化学研究所 |
| 営業本部 業務部 | 磯原工場 業務部 |
| 電話番号 03(3274)5502 | 電話番号 0293(42)1147(代) |
| Fax 番号 03(3275)2206 | Fax 番号 0293(42)1185 |

当データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の手配を対象としたものですので、特別な手配をする場合には、充分ご注意ください。